

(別紙2)

平成28年度上期「米子市都市公園」モニタリング評価表 [平成29年2月]

施設名	米子市都市公園	
施設所管課	建設部 維持管理課	
指定管理者名	団体名	有限会社 平井工業
	所在地	米子市河岡 954-1
指定期間	平成28年4月1日 ~ 平成33年3月31日	
選定方法	公募・非公募	
施設の設置目的	米子市都市公園は、主に緑豊かな自然環境の中で、休息、鑑賞、散歩、遊戯、運動等のレクリエーション及び大震災等の災害時の避難等に供することを目的としている。	
主な実施事業	米子市都市公園の維持管理、猿紹介看板設置、公園パンフレット作成配布、公園内祭開催時の巡視、AEDの設置、公園イルミネーション、米川沿いつつじ補植	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
I 履行の確認 (60点)			
1 施設全般の管理運営に関する業務			
(1)管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がなされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか	B	事業計画書、毎月度都市公園報告書確認。 ・事業計画書に基づいた管理体制で行っており、報告書で人員配置を確認できる。 ・緊急時の体制、危機管理マニュアルが作成されている。
(2)職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか	B	事業計画書確認。 下期に実施する。
(3)利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	B	事業計画書、毎月度都市公園報告書、事業報告書確認 ・公園パンフレットの提供
2 利用者に関する業務			
(1)利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか ※1	B	都市公園行為許可申請、行政財産使用許可等確認 ・前年度同時期と比べ利用者が微増している。
(2)利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか	A	自治会要望等 ・利用者からの要望について、迅速に対応できている。
3 保守点検及び清掃等の業務			
(1)保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	事業計画書、毎月度都市公園報告書、事業報告書確認 ・事業計画書に基づき実施されている。
(2)清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われた	B	事業計画書、毎月度都市公園報告書、事業報告書確認

	か 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か		・事業計画書に基づき適切に実施されている。
(3) 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	事業計画書、事業報告書確認 ・事業計画書に基づき実施されている。
(4) 修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	事業計画書、毎月度都市公園報告書、事業報告書等確認 ・巡視等の際、施設の破損等を発見した際は、速やかに修繕等の対応を行っている。
4 自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか	B	事業計画書、毎月度都市公園報告書、事業報告書等確認 ・事業計画書に基づき概ね実施されている。
5 情報公開・個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか	A	事業計画書確認 ・情報公開、個人情報に関するマニュアルが作成されており、適切に実施されている。
6 管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか	A	事業計画書、毎月度都市公園報告書確認 ・事業計画書に基づき巡視等を行い、施設の現状認識をされ、今後の在り方についての提案が具体化されている。 ・施設の修繕が必要な箇所は自主作業により修繕を行い、また、対応が不可能な場合は協議書により協議を行っている。
II サービスの質の評価 (25点)			
1 利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか	B	利用者アンケート結果、事業計画書、毎月度都市公園報告書、事業報告書確認 ・利用者に対するサービスの向上及び利用促進を図るため自主事業を計画・実施されている。また、アンケート結果においても比較的良い評価を得ている。
2 維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	A	事業計画書、毎月度都市公園報告書確認 ・事業計画書に基づき日常の清掃・衛生管理等の管理業務が実施されており、上期では利用者からの苦情がなかった。
3 運営業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	A	利用者アンケート結果、毎月度都市公園報告確認 ・利用許可を行っている利用者への接客・対応を適切に行っており、上期では苦情がなかった。

4 自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか	B	事業計画書、毎月度都市公園報告書、事業報告書確認 ・公園パンフレット作成配布、祭りの際の巡視等の自主事業を計画どおりに行っており、利用者に対するサービス向上策が概ね図られている。
5 施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	事業計画書、毎月度都市公園報告書、事業報告書確認 ・日常生活の憩いの場として公園を利用できるよう日々管理運営を行っている。

Ⅲ サービスの安定性の評価（15点）

1 事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか ※2	B	事業報告書確認 ・過不足なく適切に執行されている。
2 経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか ※3	B	事業報告書、提出資料確認 ・利用者の増加により利用者当たりコストが減少している。良好な経営状況である。
3 団体等の経営状況（年度ごと）	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか ※4	—	

<p>【総評（所管課評価）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業計画書のなかで適切な施設管理方針が示されており、管理施設及び職員の適正な管理が行われている。 ・巡視点検結果及び施設利用者等からの通報及び要望を適切に処置している。 ・担当課と連絡を密に取っており、業務上の問題もない。また、アンケート調査結果により施設利用者から比較的良好な評価を得ている。 ・施設の運営に係る企画では、公園パンフレット等の提供を行うことにより公園施設のPRに努め、公園施設の利用促進に寄与している。上期は前年度同時期に比べ施設利用者数が微増している。下期においても利用者増加に向けた努力を行っていただきたい。 	<p>合計点 (67) 点 / (95) 点 × 100 = (70)</p> <p>平均点 (3.7) 点</p>
--	--

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分 A（優良）＝協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。（5点）

B（良好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（3点）

C（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（1点）

D（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（0点）

※特記事項欄は、評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※1 利用状況

項目	本年度〔平成28年4〕	前年度〔平成27年4〕	対比	対比が±20%を超える
----	-------------	-------------	----	-------------

	～7)月] A	～7)月] B	A-B、A/B	場合は増減理由を記載
開館日数	—	—	—	
施設利用者数	50,887人	50,640人	247、100(%)	
施設稼働率	—	—	—	
事業開催数	148件	146件	2、100(%)	

※2 事業収支

(1) 収入

項 目	本年度〔平成28年4 ～7)月] A	前年度〔平成27年4 ～7)月] B	対比 A-B、A/B	対比が±20%を超える 場合は増減理由を記載
利用料収入	—	—	—	
指定管理料	43,907,160	44,000,000	0、100(%)	
合 計	43,907,160	44,000,000	△92,840、99(%)	

(2) 支出

項 目	本年度〔平成28年4 ～7)月] A	前年度〔平成27年4 ～7)月] B	対比 A-B、A/B	対比が±20%を超える 場合は増減理由を記載
人件費	25,411,807	24,516,466	895,341、104(%)	
需用費	2,362,598	2,833,668	△471,070、83(%)	
消耗品費	1,007,921	1,038,351	△30,430、97(%)	
燃料費	754,481	743,867	10,614、101(%)	
修繕費	600,196	1,051,450	△451,254、57(%)	本年度は、施設修繕等の減
役務費	1,336,417	1,491,780	△155,363、89(%)	
通信運搬費	170,057	175,120	△5,063、97(%)	
手数料	1,120,080	1,296,750	△176,670、86(%)	
保険料	46,280	19,910	26,370、232(%)	自賠責保険料の増
委託料	940,673	1,196,071	△255,398、78(%)	リース費用の減
使用料及び賃借料	147,687	217,622	△69,935、67(%)	印刷費等の減
原材料費	63,789	180,117	△116,328、35(%)	施設修繕費に係る材料費の減
備品購入費	196,074	39,480	156,594、496(%)	作業用機器の購入増
負担金及び交付金	478,278	601,602	△123,324、79(%)	協賛不参加による減
公課費	40,600	77,800	△37,200、52(%)	自動車税の振替による
研修費	20,232	151,637	△131,375、13(%)	講習等の実施時期の関

				係
雑費	277,481	189,812	87,669、146 (%)	支給品の購入増
諸経費	1,048,422	10,250,684	231,738、102 (%)	
光熱水費	2,149,072	2,253,261	△104,189、95 (%)	
合 計	43,907,160	44,000,000		

※3 経営状況分析指標

項 目	本年度〔平成28年4 ～7)月〕 A	前年度〔平成27年4 ～7)月〕 B	対比 A-B、A/B	備 考
① 事業収支	—	—	—	
② 利用料金比率	—	—	—	
③ 人件費比率	0.578	0.557	0.021、103 (%)	
④外部委託費比率	0.021	0.027	△0.006、77 (%)	委託費の減
⑤利用者当たり管 理コスト	0.862	0.868	△6、99 (%)	
⑥利用者当たり自 治体負担コスト	0.862	0.868	△6、99 (%)	

①事業収支：(収入－支出)

事業全体が黒字で施設の管理運営ができていようかどうか確認する。赤字の場合は、管理継続性の面での課題を解決し、黒字化のための方策を検討する。

②利用料金比率：(利用料金収入/収入)

収入に占める利用料金の割合。指定管理者の収入源がどこにあり、それが安定したものであるかを確認する。

③人件費比率：(人件費/支出)

支出に占める人件費の割合。支出の中で人件費が減らされすぎていないか、又は費用がかかりすぎていないかを確認する。

④外部委託比率：(外部委託費合計/支出)

支出に占める外部委託費の割合。外部委託に過度にシフトしていないかを確認する。

⑤利用者当たり管理コスト：(支出/延べ利用者数)

利用者1人当たりにかかる費用。前年度や事業計画との比較、類似施設との比較により施設の効率性を確認する。

⑥利用者当たり自治体負担コスト：(指定管理料/延べ利用者数)

利用者1人当たりにかかる自治体の費用。前年度や事業計画との比較、類似施設との比較により施設の効率性を確認する。

※4 団体等の経営状況 (年度ごと下期に実施し、上期では行いません。)

項目	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	備考
①自己資本比率	30.3%	39.6%	37.8%	41.3%	48.8%	
②流動比率	135.2%	164.9%	149.2%	178.0%	219.0%	
③固定長期適合率	59.5%	48.3%	50.7%	40.8%	51.9%	
④総資産経常利益率	0.6%	1.4%	0.3%	0.3	8.8%	
評価	(以上の指標を参考に評価する。)					

※貸借対照表と損益計算書を基に計算する。太枠内に今年度の数値を記載し、左側に過去4年分を記載する。

①自己資本比率

総資産（資産合計）に占める自己資本（純資産合計）の割合を示した指標。どれだけ借金に頼らず経営をしているかを示す。比率が高いほど借金（負債合計）に頼る割合が低く、経営が安定していることを示す。一般的には、70%以上なら理想企業、40%以上なら倒産しにくいとされている。

$$\text{自己資本比率 (\%)} = \text{自己資本} \div \text{総資産} \times 100 \quad \text{【例】 } 800 \div 2,000 \times 100 = 40.0\%$$

②流動比率

団体の短期的な支払能力を示す指標。1年以内に現金化できる試算を「流動資産」、1年以内に支払を要する負債を「流動負債」といい、「すぐに準備できるお金」と「すぐに返さないといけないお金」のバランスを比較する。流動資産（すぐに準備できるお金）の方が多いほど、支払能力が高いことを示す。100%以上であれば問題ない。100%未満であれば資金繰りが苦しいとされる。

$$\text{流動比率 (\%)} = \text{流動資産} \div \text{流動負債} \times 100 \quad \text{【例】 } 1,100 \div 700 \times 100 = 157.1\%$$

③固定長期適合率

固定資産をどの程度、自己資本（純資産合計）と固定負債で賄っているかを示す指標。土地や建物など、この先1年以上換金できない、又は換金しない固定資産を返済義務のない自前の資金である自己資本（純資産合計）と長期で調達したお金（固定負債）でどれだけ賄えるかを見る。100%未満であれば問題ないが、100%以上の場合は固定資産の維持調達について流動負債にも依存していることを示すことから、資金繰りが苦しいと考えられるとされる。

$$\text{固定長期適合率 (\%)} = \text{固定資産} \div (\text{固定負債} + \text{自己資本}) \times 100 \quad \text{【例】 } 900 \div (500 + 800) \times 100 = 69.2\%$$

④総資本経常利益率

団体の総合的な収益力を示す指標。団体の総資産（資産合計）に対して、どれだけ経常利益を稼ぎ出しているかを示す。比率が高いほど資本を効率的に運用し、収益を上げている。

$$\text{総資本経常利益率} = \text{経常利益} \div \text{総資産} \times 100 \quad \text{【例】 } 200 \div 2,000 \times 100 = 10.0\%$$

■貸借対照表

【資産の部】	【負債の部】
流動資産	流動負債
預金 191,947,300	支払手形 18,400,000
工事未収入金 73,415,136	工事未払金 83,606,355
未完成工事支出金 624,033	未払金 17,555,621
短期貸付金 3,289,004	未払消費税 5,252,600
仮払金 2,444,700	未払法人税等 235,800
前払費用 33,045	預り金 164,228
未収入金 2,674,344	流動負債合 125,214,604
貸倒引当金 △470,000	固定負債
流動資産合計 273,957,562	長期借入金 64,140,000
固定資産	長期未払金 608,400
建物 21,313,154	固定負債合計 64,748,400
建物付属設備 1,174,605	負債合計 189,963,004
構築物 1,090,348	【純資産の部】
機械装置 5,255,507	株主資本金
車両運搬具 6,707,294	資本金 36,500,000
工具器具備品 1,580,439	利益剰余金 144,951,054
土地 54,742,851	純資産合計 181,451,054
電話加入権 569,318	
出資金 3,200,000	
差入保証金 50,000	
保険積立金 904,259	
長期前払費用 616,091	
預託金 252,630	
固定資産合計 97,456,496	
資産合計 371,414,058	負債純資産合計 371,414,058

■損益計算書

完成工事高	
完成工事高	826,871,086
兼業事業売上	14,507,663
自動販売機売上	1,507,966
工事完成原価	
兼業事業原価	12,983,236
完成工事原価	721,343,771
完成工事総利益	108,559,708
販売費及び一般管理費	76,548,217
営業利益	32,011,491
営業外収益	
受取利息	79,883
受取配当金	142,858
雑収入	1,928,480
営業外費用	
支払利息	929,646
支払保証料	438,157
雑損費	5,079
経常利益	32,789,830
特別利益	
貸倒引当金戻入金	200,000
特別損失	
固定資産売却損	34,581
除却損	35,555
退職金	13,652,380
貸倒引当金繰入額	470,000
税引前当期純利益	18,797,314
法人税・住民税等	4,580,857
当期純利益	14,216,457

5 利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

・上期における施設利用者からの要望については、自治会から緑地の除草要望が多くあったが、要望に対して迅速に対応しており、その事に対する苦情もなく市が指導を行うことはなかった。なお、苦情はなし。

6 利用者アンケートの結果

(期間：平成28年4月1日～平成28年7月31日)

上期のアンケート調査では、合計56枚の回答があった。性別では男性、女性の回答が半数ずつであり、その中で年齢は20歳代未満が多く、職業は学生が最多であった。主に利用する施設として、修景施設、運動施設並びに教養施設が多く、利用目的は、体力向上、レクリエーション等の利用が中心であった。

よく利用する公園としては弓ヶ浜公園、湊山公園の総合公園が多い結果であり、利用目的の体力向上がアンケート結果として多かったことで分かるように健康志向の向上のため広場があり運動等ができる公園をよく利用することが考察される。

施設運営、施設設備に関しては、満足よりの回答が多く、また、施設の総合的な印象も期待どおりの回答が多く、適切な管理運営がされていると判断できる結果であった。ただし、少数であるが、不満足よりの回答もあるので、改善に努められたい。